

令和4年2月定例会 代表質問

質問と答弁の一部を抜粋して掲載しております。

令和4年度 施政方針・当初予算について

Q1

本庁舎高層棟は建築されてから約50年。耐震は不十分で老朽化しており、この先建て替えも検討が必要。かたや、南千里に建設中の北部庁舎は消防・土木が入る予定。本庁舎よりもはるかに堅牢で、消防や土木とも連携がスムーズに行え、ヘリポートもあり、災害時の様々な対応に相応しいと考える。未曾有の災害に備える危機管理センターをなぜ本庁舎高層棟に設置するのか？

危

危機管理監

災害対策機能のワンフロア化や設置スペースを常時確保することについて、**北部庁舎も検討したが**、災害対策本部を本庁舎から遠隔地に設置することは、**初動対応に遅れを来すこと**、通信網が断絶された場合には各部との連携体制が滞ること、被災者の生活再建まで長期にかつ多岐にわたる災害対応を全庁的に統括することが困難となる事等、**多くの課題があることから、本庁舎が適当であると判断した。**

Q2

教育現場よりも、自前で豪華な教育センターの設置が優先となって、子どもたちへの投資が後回しになっている。有事の際の避難所にもなる、学校の体育館の空調をR7年度に整備とのことだが、もっとスピード感を持って進める事はできないのか？

教

教育監

現時点の最短スケジュールは、**令和7年度整備完了を想定。**

Q3

時限的な学校給食の無償化について、吹田市の財政を考えると、そもそも恒久化すべきでは。

学

学校教育部長

今後、国等の動向や社会状況等を踏まえ、**慎重な検討が必要。**

Q4

吹田市の子供の夢・未来を応援するバウチャークーポン事業の提案を昨年5月に行った。その後の進捗は？

児

児童部長

令和4年度に**アンケートの実施等を予定**しており、他市の事例を調査し、アンケート項目の内容などについて検討している。

防犯カメラについて

Q5

子どもの見守りの観点と、教職員の負担軽減を考えて、小・中学校の防犯カメラの設置状況は？

学

学校教育部

小学校36校のうち**9校**・中学校18校のうち**6校**で設置している。

犯罪被害者の支援について

Q6

北新地のビル放火殺人事件で多くの方が犠牲になりました。この事件で、「条例の有無で被害者の待遇の差」が問題となっており、吹田市においても実効性のある条例の早期制定をすべきでは？

市

市長

積極的に支援方法について**研究をしていく。**



公園のトイレ改修の計画について

Q7

市内公園に旧式のトイレが多く、一例を挙げると足跡公園は誰も使わない...、というか使えない状態。快適性と安全性を著しく損なった旧式のトイレの早期更新を。

土

土木部長

地域に意向確認を行った後、**順次撤去・更新を実施していく。**

吹一地区公民館について

Q8

吹一地区公民館について、何年も議論されてきたが一向に進んでいない。現在報告できることや計画などは？

地

地域教育部長

早期に解決すべき課題であると、強く認識している。引き続き、地域の御意見も伺いながら、**建て替え用地の確保に努める。**

令和4年度の予算委員会

予算委員会で議論を重ねた「**市民課窓口の業務委託**」の予算取り下げ、「**危機管理センター設置**」の予算は一部減額され事になりました。

市民課窓口の業務委託については、文教市民分科会で民間委託するが人件費は変わらず、コストメリットがなく、理事者が用意する資料も乏しく、答弁も準備不足といった所で、厳しい質疑・意見が飛び交いました。

大阪維新の会としても、民間委託は是とするものの、中身は非常に精度が低いものであったため、是々非々の立場で当案件にはNoで対応致しました。

分科会に所属する全会派一致となったため、市長部局はこれにかかる予算を撤回し削除となりました。

危機管理センターの設置につきましては、設置しようとする本庁舎高層棟の耐震性・強度の担保がとれない状態であり、理事者の答弁は準備不足や認識の違いから幾度となく修正・撤回を繰り返し、まともな議論がなされませんでした。

大阪維新の会としては、予算を撤回して一から地盤や建物の耐震調査などをした後、再度予算案を上げるべきと一貫して主張。

その他には、卒煙を促す豪華喫煙ブースの設置は、JR吹田駅と岸辺駅に計2基で約6,000万円+維持費400万円/年と他市でも類を見ない高額な事業や、コロナ禍で融資を受ける事業者にのみ20万円(×2,500件)で不公平に5億円ばらまく事業、センスアップという名でメシアター前の駐輪場の見た目をキレイにし、肝心の駐輪場の使い勝手等は無視をする自己満足の為に多額の予算を使う事業など、**市民理解を得る事が出来ないと思われれるものが、多く提案されました。**

令和4年度の予算委員会の採決と議会の採決

3月16日の予算委員会で、大阪維新の会・吹田が提案者となった**組み替え動議「危機管理センター設置にかかる予算の削除」**を提出し、維新・公明・共産・歩む会・自民(一部)の23名が賛成し可決。

3月23日の議会最終日には、**市民課窓口の業務委託の予算が削除**され、危機管理センター設置の予算は組み替え動議の意図を理解しているとは思えない、一部減額されたもので修正案が出されました。

これを受けて大阪維新の会・吹田は、**修正動議「危機管理センター設置にかかる予算の削除」**を提出するも、維新・共産・歩む会の15名の**賛成少数**となり否決されました。

最終的に、市民課窓口の業務委託の予算が削除、危機管理センター設置の予算は一部減額で、令和4年度当初予算は議決されました。